

## ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線三者協議の経過報告

### 1. 三者協議の目的等

三者協議とは、再編案の対象となっている路線沿線を対象に、利用者、奈良交通、生駒市の三者で持続的な路線バスのあり方等を話し合う場である。

この三者協議は、誰でも参加可能であり、持続的な公共交通を建設的に考えていくことを目的としており、1回15人～20人程度の参加を想定している。

### 2. 開催状況（経過報告）

現在までに5回の協議を行い、地域が主体となった利用促進策について協議を進めている。今後は、利用促進策の実施に向けて具体的な検討・関係者調整等を進める予定である。

なお、三者協議の各回の意見や様子等は、第3回から資料5-2のとおり取りまとめ、関係する地域に回覧している。

	日時	場所	参加状況	協議結果
第1回	R5.2.15 19時～	北コミュニティセンター	13名 -あすか野9名 -あすか台1名 -白庭台2名 -西白庭台1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三者協議の進め方などを話し合った。</li> <li>➤ 三者協議を1ヶ月に1回程度の頻度で開催</li> <li>➤ 利用促進策の評価・効果計測方法は事前に決める</li> <li>➤ あすか野自治会の特別委員会で具体的な利用促進策を検討中、その結果を文章で提出する</li> <li>➤ 先行事例を事業者から提案する</li> </ul>

	日時	場所	参加状況	協議結果
第2回	R5.3.22 19時～	北コミュニティセンター	13名 -あすか野7名 -あすか台2名 -白庭台2名 -ひかりが丘1名 -他1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用促進策のについてテーマごとに分かれて話し合った</li> <li>【イベント等による利用促進策を考える】</li> <li>➤ 特典をつける</li> <li>➤ あすか野地区で利用促進策を考え行動変容に繋がる施策から実行</li> <li>➤ クルマ通勤からバス通勤への転換を促す</li> <li>【利用者ニーズ等のデータから、どうすればバスを利用するのか考える】</li> <li>➤ 減便でかなり効率化できるが、それが何分間隔かは微妙なところで、接続する電車などの競争相手を意識して設定すべき</li> <li>➤ これ以上の減便は車利用になる。便数が大事であり、これ以上減らしてほしくない。</li> <li>➤ 現状把握が必要。少ない時間帯をどうすべきかを考えたほうがいいのではないかと。</li> </ul>
第3回	R5.5.31 19時～	北コミュニティセンター	14名 -あすか野7名 -あすか台1名 -白庭台2名 -西白庭台3丁目1名 -小明町2名 -辻町1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの三者協議での意見を再確認し、三者の状況と立場を相互に理解した上で、今後の進め方についてシナリオを共有した。</li> <li>・ ※詳細は資料5-2 ニュースを参照。</li> </ul>
第4回	R5.7.6 18:40～	あすか野自治会館	34名 -あすか野26名 -白庭台3名 -西白庭台3丁目1名 -北田原町2名 -辻町2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民が主体となった利用促進の取り組みを行うために、他地域の事例を参考に取り組みの案を話し合った。</li> <li>・ ※詳細は資料5-2 ニュースを参照。</li> <li>・ 路線再編までの猶予期間をさらに1年間延長し、令和7年3月までとすることを共有した。</li> </ul>
第5回	R5.8.10 18:40～	白庭台中央集会所		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちや地域で取り組む利用促進案を決定した。</li> <li>① 地域等で運行経費負担や利用促進を目指した「サポーター制度」の導入</li> <li>② 利用機会の創出を目指した「バスに乗ろうポスターコンクール」の開催テキスト</li> <li>※詳細は資料5-2 ニュースを参照。</li> </ul>